

イベント安全DXの 現在地と課題

9カテゴリ

で捉える安全・安心の再設計



SPEAKER

近田 菜優

bravesoft株式会社

イベント安全DXの背景

なぜ今、見直すのか？



「事故が起きなかった」だけでは、 評価されにくい時代

- ▶ 来場者・出展者・行政から求められるのは



根拠をもった運営



説明できる記録

説明責任の変化



- 運営判断のタイミングと根拠を示す場面が増加
- 「どこで混んだのか」「なぜ判断したか」を可視化することが求められる

※ 2001年明石花火大会事故(11名死亡)、2022年梨泰院雑踏事故(159名死亡)などの大規模事故を契機に、イベント主催者の説明責任が強化されてきた

安全 = 開催価値



- 混雑の不安を下げることで 来場満足と信頼に直結
- 再来場・出展継続の意思決定に 大きく影響する

イベント安全の全体像

9カテゴリ

で捉えるリスク管理



安全・安心を構成する9つのカテゴリ

① 人流・群衆



滞留

逆流

密度

導線設計

② 医療・健康



熱中症

救護対応

感染症対策

③ ヒューマンエラー



連絡ミス

手順漏れ

記録紛失

④ 情報伝達



アナウンス

誘導

緊急連絡

⑤ 設備・インフラ



電源

通信

仮設工作物

⑥ 気象・災害



荒天

地震

開催可否判断

⑦ 交通・外周



駅・バス

近隣対策

駐車場

⑧ セキュリティ



不審物

警備

入退場管理

⑨ 物販・待機列



金銭授受

在庫管理

列整理

本日は、この中でも事故発生率が高く、IT導入の効果が出やすい 4カテゴリ ①～④に絞ってお話します

① 人流・群衆



滞留

逆流

密度

導線設計

② 医療・健康



熱中症

救護対応

感染症対策

③ ヒューマンエラー



連絡ミス

手順漏れ

記録紛失

④ 情報伝達



アナウンス

誘導

緊急連絡

case1

人流・群衆リスク

① 人流・群衆リスク

現場の課題

入場ゲートで滞留、
場内でボトルネック

特定エリアへの急激な集中
により、人の流れが停止す
る危険性。

退場ピークで逆流、
場外の歩道に溢れる

終演後の誘導が追いつかず、
一般交通や近隣への影響が発
生。

無線報告が断片的で、
判断が遅れる

「混んでいます」という主観的
な報告だけでは、適切な増員
判断ができない。



何が見えると変わるか？

Insight

IT導入で「見える」ようになること

実数・在場数の把握

入退場の実人数と現在の在場者数がリアルタイムで即時に分かる



迷わず導線切替

混雑度の可視化

エリアごとの混雑状況をヒートマップ（色）で直感的に把握できる



スタッフ再配置

予兆の検知

閾値を超えたアラートによりピーク前に誘導・開門を前倒しできる



来場者へ迂回案内



データがあるから、現場が動ける

case2

医療・健康リスク

② 医療・健康リスク

現場の課題

屋外での熱中症、救護所の滞留

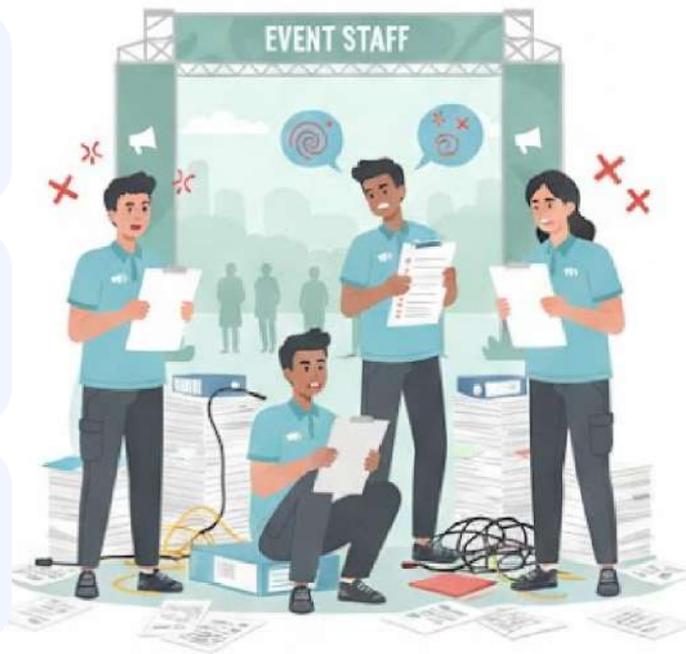
急激な環境変化により体調不良者が続出、救護スペースが不足する。

救護要請の位置が分からず到達が遅い

曖昧な通報内容により、医療スタッフが現場特定に時間を要する。

給水・休憩導線が偏り、混雑が発生

特定のスポットへの集中が、さらなる体調悪化リスクを生む。



何が見えると変わるか？

Insight

Visualization

IT導入で「見える」ようになること

環境データの監視

温湿度や暑さ指数(WBGT)の上昇を
エリアごとに早期に把握する

声掛けの前倒し

救護要請の共有

救護要請と発生位置を共有し最寄
りのチームを自動呼集

到達時間短縮

休憩所の混雑分散

給水スポットの混雑を可視化し空
いている場所へ分散案内

休憩待機の滞留分散

データがあるから、現
場が動ける！



case3

ヒューマンエラー

③ ヒューマンエラー

現場の課題

紙リスト照合ミス、口頭指示の食い違い

アナログ作業による確認漏れや、伝言ゲームによる情報の変質が発生。

開門・閉鎖のタイミング抜け

担当者の記憶や時計への依存により、定時運用が数分遅れるリスク。

記録が残らず、翌日に活かさない

「何が起きたか」の正確なログがなく、翌日も同じトラブルを繰り返す。



何が見えると変わるか？

Insight

IT導入で「見える」ようになること

手順の画面化・W確認

紙リストを廃止し手順を画面化。重要項目はシステム上で強制的にダブルチェックを実施

指示が揃う

アラート・ログ保存

時刻アラートで作業漏れを防止。「誰がいつ何をしたか」のログを自動保存する

引継ぎが楽

変更点の即時同報

当日の急な変更や追加指示を全員の端末にプッシュ通知。伝言ゲームによる齟齬をなくす

検証が早い

情報が揃うから、現場が迷わない



case4

情報伝達リスク

④ 情報伝達リスク

現場の課題

場内アナウンスが
届かないエリアがある

騒音やスピーカー配置の問題
で、重要な案内が全員に伝わ
らない。

列変更や中断情報が浸
透せず混乱

状況が変わったことを最後尾
や待機者に伝える手段がなく
、クレームに発展。

SNSで誤情報が
拡散

公式発表よりも早く不正確
な情報が広まり、現場の混
乱を助長する。



何が見えると変わるか？

Insight

Visualization

IT導入で「見える」ようになること

属性別の一斉連絡

スタッフ・来場者・出展者を属性ごとに分けて一斉連絡できる



数分で全員に届く

エリア連動の即時案内

エリア限定表示と連携し必要な場所だけに現地で即時案内を出す



不安解消でクレーム減

行列のデジタル管理

整理券・呼出機能で物理的な行列を作らずシステム管理する



運営全体の足並みが揃う

データがあるから、現場が動ける



4カテゴリに共通して効く視点



見える化

人数・場所・時刻の
事実データを揃える



基準化

「こうなったらこうする」
判断基準を事前に決める



即時連絡

決めたアクションを
すぐ全員に届ける

ITはこの

3つのサイクル

を高速化するために存在する

世界と日本の違い

アプローチと仕組みの比較



日本は“現場の努力” / 海外は“仕組み”

日本の傾向

現場力・属人化アプローチ



当日の頑張りで乗り切る
マンパワーと個人の経験則に依存



口頭引継ぎ
「聞いていない」トラブルが多発



記録が散在
紙や個人の記憶に残り、共有されない



海外の傾向

仕組み・標準化アプローチ



事前に基準とシナリオ
「こうなったらこう動く」を定義済



当日は運用確認
計画通り動いているかだけをチェック



翌年はデータで改善
客観的なログを元にブラッシュアップ

※ 経団連2017年調査:長時間労働につながる職場慣行の第1位が「業務の属人化」(27.3%)

※ 海外ではISO 21902やDIM-ICE(Crowd Dynamics)など群衆管理の国際標準が活用されている

技術力の差ではなく、

設計の差

誰かが全体を設計しない限り進まない

主催

会場

警備

医療

情報

の横串を通し

指揮系統とデータの

置き場所を決める役割



eventos の紹介

安全・安心を実現するプラットフォーム

eventos

今日の4カテゴリと eventos の対応



eventosはカンファレンス／展示会などのイベント実施から、データ収集まで行うことができる、統合イベントプラットフォームです

イベントサイトの公開



イベントアプリの構築



eventos管理ツール



さまざまなニーズに対応した機能を自由を選択して公開



ウェビナー



カンファレンス



オンラインMTG



アンケート



チャット商談



オンライン展示会



チケット販売



ログ出力

様々なイベントシーンでスマート化を実現

eventos **Fan**

一般生活者向けイベント
お客様の熱量を高めるイベントDXサービス

導入事例

- 北海道 マラソン
- 横浜・八景島シーパラダイス
- おは朝パーク
- 北陸新幹線 金沢一敦賀間 開業試乗会
- 東京 ガールズコレクション
- まつえ土曜夜市
- マイナビ仙台レディース
- マルイノアニメ



eventos **Biz**

企業向けイベント
ビジネスを加速するイベントDXサービス

導入事例

- SusHi Tech Tokyo 2024
- updataNOW 23
- ホテル業界 合同会社説明会
- ジャパン建材フェア
- Japan Mobility Show 2023
- Cシアター
- CHANGE TO HOPE 2022
- DX総合EXPO



導入・運用の実績

実証済みの仕組み



机上の空論ではなく、すでに各地の現場で導入・運用されている実績のあるシステムです。

安定稼働と記録活用



当日の安定したシステム稼働に加え、翌日の改善に使える記録をデータとして確実に残します。

小さく始めて、育てる

Growth

STEP 01



試行

まずは全エリアではなく、1導線・1列で可視化。小規模に導入し効果を検証

STEP 02



本番

試行で得た知見をもとに判断基準を全体に展開。チーム全員で共通認識を持つ

STEP 03



改善

当日のログデータを記録で振り返り次回に反映。「経験」を「資産」に変える

いきなり全てをデジタル化するのではなく、効果の高い場所から段階的に進めることが成功の鍵です



クロージング

まとめと次へのアクション

あなたのイベントで一番リスクが高いのは、
どのカテゴリでしょうか

すべてを一度にやる必要はありません
一番効果の出るところから始めることが大切です